

第 21 回自動車安全技術プロジェクトチーム会議 開催結果

1 開催概要

- (1) 日時 令和 6 年 3 月 27 日 (水)
- (2) 場所 愛知県議会議事堂 ラウンジ
- (3) 出席者 以下の通り (敬称略)

【企業】

林 健 (株)アイシン 走行安全第 1 制御技術部 主査
平光 康裕 (株)アドヴィックス 技術統括部 技術企画室 室長
藤本 豪之 (株)デンソー モビリティエレクトロニクス経営企画部 技術企画室 室長
本多 輝彦 トヨタ自動車(株) 情報通信企画部 ITS 推進室 担当部長
児玉 将芳 (株)トヨタ名古屋教育センター (中部日本自動車学校) 常務取締役
伊藤 政義 三菱自動車工業(株) 第二車両技術開発部 先行技術開発部 部長付

【大学】

松尾 幸二郎 豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 准教授
鈴木 達也 名古屋大学 工学研究科 教授

【行政】

国土交通省中部運輸局

豊田市

愛知県知事 大村 秀章 (挨拶後に退席)

愛知県経済産業局、防災安全局、都市・交通局、建設局

愛知県警察本部

【講師】

長谷部 和彦 トヨタ自動車株式会社 情報通信企画部 ITS 推進室 主任
趙 雨晴 名古屋大学大学院 機械システム工学専攻・機械知能学 助教

2 議事概要

- 大村知事挨拶の後、事務局から、今年度のプロジェクトチームの取組成果について報告を行った。また、メンバーから関連する取組について報告いただいた。
- その後、意見交換を行った。主な発言は以下のとおり。

【主な発言】

(株式会社アイシン 林氏)

弊社では、事故の低減に寄与する製品の開発を進めている。今後も引き続きそういった製品の普及を進め、事故の低減に繋げていきたい。

(株式会社アドヴィックス 平光氏)

愛知県では、自動車が非常に身近なものであり、それゆえに事故も多いと感じる。愛知県民であるからこそ、当事者意識を持って事故の低減に取り組むことができる場所があると思う。弊社においても、今後も積極的に事故の低減に取り組んでいきたい。

(株式会社デンソー 藤本氏)

トヨタ自動車(株)の事故ゼロに向けた取組みの紹介の中で、同社の考えるクルマのマナーのあるべき姿に感銘を受けた。弊社も協力していきたい。

(トヨタ自動車株式会社 本多氏)

本プロジェクトチームで、弊社のデータを有効に使っていただき大変ありがたい。自動車の技術の側面から交通安全、事故防止のために努力するのはもちろんだが、道路の整備や、ドライバーにいかに情報提供して意識を高く持っていただき、行動変容に繋げることができるかということも重要だと改めて認識した。弊社も引き続き IT 技術を活用して、安全を実現できるよう取り組んでいきたい。

(中部日本自動車学校 児玉氏)

弊社は、トヨタ自動車(株)が設立した交通教育機関として、幼稚園児から高齢者まで幅広く交通教育を行っている。弊社の基本方針は、一生無事故の交通社会人を作ることであり、トヨタ自動車(株)が掲げる「三位一体」の取組みの「人」への啓発活動の部分に対して、長年教習で培ったノウハウを技術として、今後も事故の低減に取り組んでいきたい。

(三菱自動車工業(株) 伊藤氏)

ドライバーに対して事前に危険を伝え、ドライバーの行動を変容させることで、未然に事故を防ぐことの重要性を再認識した。弊社も、今後何らかの形で本プロジェクトチームの活動を通して交通事故低減に貢献していきたい。

(名古屋大学 鈴木氏)

本プロジェクトチームでは、事故低減に向けて種々の取組を行っているが、それらの取組みがどこかで繋がる仕組みを作ることが必要だと感じる。ドライバーへの通知の仕方は、万人向けのものは作れないと思うので、人を意識しないといけない。人を中心とした、ベースとなる知見があって、その上にいろんな技術が積みあがっていくのだと感じた。アカデミアとしてもそういったことを特に意識をしながら、今後進めていきたい。

(豊田市 中村氏)

過去 10 年の交通死亡事故発生状況を見ると、事故が 3 分の 1 ぐらいになっている。1 つ 1 つ小さなことでも、対策を行っていくことで死亡事故等が減っていくというところが結果として見えてきている。豊田市でも、死亡事故ゼロに向けた取組みとして、トヨタ自動車(株)等と協力してジコゼロ大作戦、を実施している。引き続きこういった取組みを行い、豊田市・愛知県から死亡事故を減らしていきたい。

(中部運輸局 横山氏)

国土交通省では、自動運転レベル 4 の無人の移動サービスの普及に向けた実証実験を行っている。2025 年に 50 ケ所、2027 年に 100 ケ所以上の地域で自動運転の社会実装の

実現を目標としている。令和5年度は、中部運輸局管内で20ヶ所程度の地域でレベル4に向けた実証実験を行っている。

今後も皆様の意見をいただきながら、取組を進めていきたい。

(愛知県防災安全局 山肥田県民安全監)

県民安全課では、県庁の交通安全関係の取りまとめをしている。教育委員会を含む県庁各課で構成される会議体や、市町村の交通安全の担当者を集めた会議体など、様々な会議体を持っているので、今後実証実験を実施する際、実験場所の選定にお困りであればご相談いただきたい。また、実証実験の結果を市町村等に広報したいということであれば、その調整もさせていただきたい。

(愛知県都市・交通局 杉谷リニア・交通対策監)

都市・交通局では、産学行政で構成される「愛知県 ITS 推進協議会」を中心に様々なフォーラム等の取り組みを実施している。引き続き本プロジェクトチームの皆様と連携して、ITSの普及啓発に取り組んでいきたい。